

[衛生指導課業務]

県並びに生産者団体及び畜産関係団体等と連携を強化しながら、自衛防疫の推進を図り、家畜伝染病予防に係る以下の事業を行った。

1) 補助・助成事業

(1) 国庫事業

① 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

BSE（牛海綿状脳症）検査機関に職員を配置し、BSEの発生予防のため、県との連携の連絡を密にし、BSE検査及び死亡牛の適正な処理を推進した。

また、県、生産者団体、化製業者、死亡獣畜取扱業者等からなる協議会を開催し、事業を推進した。

死亡牛検査処理状況 (平成30年3月末現在)

区 分	計 画	実 績	備 考
48ヶ月以上	300頭	252頭	
24ヶ月以上48ヶ月未満	0頭	249頭	
7ヶ月以上24ヶ月未満	0頭	174頭	
7ヶ月未満	0頭	252頭	
合 計	300頭	927頭	

② 家畜生産農場清浄化支援対策事業

a) 疾病清浄化支援対策

(a) ヨーネ病対策

ヨーネ病のまん延防止及び清浄化を推進するための講習会を開催した。

(b) 牛白血病対策

牛白血病の感染拡大を防止するための講習会を開催し、牛白血病対策実施農場牛白血病陽性牛の確認及び陰性牛の流通を推進するための検査に要する経費の助成を行った。

(c) BVD-MD病対策（牛ウイルス性下痢・粘膜病対策）

BVD-MD病のまん延防止及び清浄化を推進するための講習会を開催し、持続感染牛(PI牛)のとう汰を実施した。

(2) 独立行政法人農畜産業振興機構事業

① 家畜防疫互助基金支援事業

豚コレラ、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、飼養家畜のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組みを支援するため、生産者等に対し、事業の加入推進・普及・連絡調整等を行った。

家畜防疫互助事業生産者積立金状況

乳用牛・肉用牛

(平成30年3月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
乳用牛	24ヶ月齢以上	41	5,321	1,250,435
	24ヶ月齢未満	27	1,131	107,445
肉専用種繁殖雌牛	24ヶ月齢以上	26	1,121	252,225
肉専用種繁殖雌牛 肉専用種肥育牛	24ヶ月齢未満	114	23,792	2,617,120
肉専用種と乳用種 の交雑肥育牛		18	2,750	288,750
乳用種肥育牛		5	328	31,160
計		231	34,443	4,547,135

豚

(平成30年3月末現在)

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
家族型	繁殖用種豚(雌)	23	3,748	449,760
	繁殖用種豚(雄)	20	172	20,640
	肥育豚	22	28,480	854,400
企業型	繁殖用種豚(雌)	6	4,053	506,625
	繁殖用種豚(雄)	6	93	11,625
	肥育豚	6	30,897	1,081,395
計		83	67,443	2,924,445

※戸数は延べ戸数です。

(3) 公益社団法人中央畜産会事業

① 家畜衛生体制強化基金事業

鳥インフルエンザ防疫研修会を共催した。また、農場 HACCP 取得に係る資料等の情報提供を行った。

2) 受託事業

(1) 公益社団法人中央畜産会

① 農場 HACCP 取組体制緊急強化事業

a) 普及推進協議会

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした普及のための検討会を開催し普及活動した。

b) 地域取組促進活動

農場 HACCP 認証への取組の周知を実施した。

c) 農場 HACCP 認証構築指導推進事業

農場認証に取組む農場を対象に構築指導を実施した。

② 馬インフルエンザワクチン接種推進事業及び馬鼻肺炎ワクチン接種推進事業

a) 馬防疫強化地域推進対策

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬、農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進の検討をした。

b) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

競走馬以外の乗用馬、農用馬等に馬インフルエンザワクチン接種を行った。

馬インフルエンザワクチン接種頭数

乗馬クラブ等	計 画	実 績
9	81 頭	81 頭

③ 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業

見直しがあった飼養衛生管理基準の徹底・啓発を図るための研修会を開催した。

(2) 家畜衛生対策推進協議会事業

① 自衛防疫体制強化推進事業

a) 地域自衛防疫強化推進事業

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効な活動方策、慢性感染症の対策の推進、検討等を行った。

b) 地域自衛防疫活動推進対策

地域の実態に即した自衛防疫活動を畜種別に防疫演習を開催し、地域防疫体制の整備、定着を図った。

c) 慢性感染症清浄化支援対策

牛白血病及び牛マイコプラズマ性乳房炎の清浄化に向けて防疫支援のための検討会、清浄化、普及推進を行った。

3) 協会事業

(1) 予防注射事業

鶏マレック病予防接種を実施した。

鶏マレック病予防接種羽数

地 区	計 画	実 績
中 勢	35,000 羽	14,645 羽
南 勢	45,000 羽	10,300 羽
合 計	80,000 羽	24,945 羽

4) 平成 29 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容
29	4	25	防疫事業推進会議
	5	18～19	飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業及び自衛防疫体制強化推進事業に係る全国事業推進会議 東京
		24	牛白血病講習会
	6	30	飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業に係る説明会 (肉用牛)
		20	農場HACCP取組体制緊急強化事業に係る全国推進会 東京
	7	28	馬飼養衛生管理特別対策事業に係る全国会議 東京
		31	飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業に係る説明会(養豚)
	8	9	ヨーネ病講習会
		15	BVD-MD研修会
	9	29	自衛防疫体制強化推進事業に係る防疫演習(養鶏)
		31	農場HACCP取組体制緊急強化事業に係る検討会(事例発表)
	10	5	JGAP研修会
		8	高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会(自衛防疫体制強化推進事業)
	10	28	GAP研修会
		3	第2回東京オリパラ三重県農林水産協議会畜産部会
	30	3	牛白血病研修会 中央家保
		18	レンダリング防疫演習 静岡
	1	16	BLV研修会 中央家保
		24	死亡牛事業推進会議 中央家保
	2	2	防疫演習、養豚 中央家保
		6	牛マイコ研修会 中央家保
	3	6	飼養衛生、肉用牛 中央家保
		23	飼養衛生、養鶏 中央家保
	3	26	家畜防疫互助基金支援事業 中央推進会議
		27	自衛防疫事業検討会 農業共済会館3階
	3	9	家畜生産農場清浄化支援対策事業
		15	家畜生産農場清浄化支援対策事業